

達第一號

大行天皇崩御ニ付海軍總司令ニ依リ懲罰ニ處セラシ大正元年七月二十日其ノ執行中ノ者
ハ特ニ懲罰ヲ免セラシ

大正元年八月五日

海軍大臣 男 齋 藤 實

266700

397110

海軍

1118

達第二號

藏須賀鏡守府在籍

軍 艦 浪 速

右帝國軍艦籍ヨリ除カル

大正元年八月五日

海軍大臣男 爵齋 藤 實

達第三號

艦艇類別等級別表中「浪速」ヲ削ル

大正元年八月五日

海軍大臣男 爵齋 藤 實

二 海 軍

1119

達第四號

歳入歳出取扱規程中左ノ通改正ス

大正元年八月七日

海軍大臣 男爵 齋藤 實

第一條 豫算公布セラントキハ經理局長ハ第一號書式ニ據リ歳入及仕拂ノ豫算書ヲ作り歳入豫算ヲ歳入徴收官ニ仕拂豫算ヲ委任仕拂命令官ニ令示ノ手續ヲ爲スヘシ但仕拂豫算ニ對シ内譯區分ノ必要アルモノハ經理局長ヲシテ之ヲ通知セシム

委任仕拂命令官仕拂豫算ノ令示ヲ受ケタルトキハ其ノ豫算關係ノ各廳長ニ通知スヘシ經理局長ハ第一項ノ手續ヲ爲スト同時ニ明治二十六年大藏省令第三十二號第一號書式甲ノ仕拂豫算計算書ヲ作り大藏大臣及會計検査院ニ送付ノ手續ヲ爲スヘシ

第三條中 「豫算明細書」ヲ「仕拂豫算」ニ改ム

第五條 委任仕拂命令官ハ仕拂豫算中目、節、細節ノ金額ヲ彼是増減セントスルトキハ第四號書式ノ増減更定請求書ヲ作り經理局長ニ送付シ其ノ承認ヲ受クヘシ但承認ノ必要ナキモノハ科目ヲ指定シ之ヲ專行セシム其ノ金額ハ第五號書式ニ依リ經理局長ニ報

三
海軍

告スヘシ

委任仕拂命令官ハ科目中ノ節、細節ニシテ仕拂豫算ニ示シタルモノ、外ハ支出ノミヲ整理スルモノトス

第六條 削除

第七條中 「豫備金」ヲ「第二豫備金」ニ改ム

第二十四條中 「十五日」ヲ「十日」ニ改ム

第二十八條 委任仕拂命令官ハ仕拂命令ヲ發行シタル帳簿ノ結果ニ據リ翌年度六月十日以内ニ第十四號書式ノ支出報告書ヲ作り經理局長ニ送付スヘシ

委任仕拂命令官ハ第十五號書式ニ據リ毎年十二月末日ニ於ケル豫算現況ヲ翌月十五日迄ニ經理局長ニ報告スヘシ

第四十一條 現金前渡官吏ハ經費明細簿ノ結果ニ據リ第十七號書式ノ仕拂報告書ヲ作り年度經過後一ヶ月以内ニ當該委任仕拂命令官ニ送付スヘシ

現金前渡官吏前項仕拂報告書送付ノ後支出ノ必要ヲ生シ現金前渡ヲ受ケ仕拂ヲ爲シタ

ルトキハ其ノ金額ニ對スル仕拂報告書ヲ作り當該委任仕拂命令官ニ送付スヘシ
第四十五條中 「十五日」ヲ「十日」ニ改ム

第四十六條中 「第九號書式ニ準シ」ヲ「第九號書式ノ」ニ改ム

第四十八條中 「第三號書式ニ準シタル増減計算書」ヲ「第三號書式ノ仕拂豫算増減計算書」ニ改ム

第五十一條 經理局長前條過年度支出請求書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ適當ト認メタルトキハ支出承認ヲ爲スヘシ

第五十七條 經理局長ハ明治三十三年坤第一九二三號大藏大臣通牒ニ據リ歳入歳出現計表ヲ作り年度經過後十五日以内ニ又明治二十四年乾第五七三二號大藏大臣通牒ニ據リ歳入増減計算書及會計規則第五十二條ニ據リ歳出決算報告書ヲ作り翌年度十一月三十日迄ニ大藏大臣ニ送付ノ手續ヲ爲スヘシ

第六十條 委任仕拂命令官、歳入徴收官、收入官吏及經費ノ支出收入取扱區分ハ別表ニ據ルヘシ

四

海軍

第六十一條 削除

書式改正

第一號、第二號、第三號、第四號、第九號、第十號、第十四號、第十五號、第十七號、第十八號、第二十號、第二十二號、第二十三號、第二十四號書式ヲ別紙ノ通改正シ第六號書式中「豫備金」ヲ「第二豫備金」ニ改メ第五號書式ヲ追加シ第二十六號、第二十七號書式ハ之ヲ廢止ス

委任仕拂命令官並經費取扱區分表

委任仕拂命令官		仕拂請求票ヲ作ル各屬經費要求書ヲ作ル各屬部隊		經費	支	出	區	分
海軍省經理局長	經理學部	同	本部ノ仕拂ニ屬スル一切ノ經費	同				
海軍省經理局長	軍醫學校	同	本校ノ仕拂ニ屬スル一切ノ經費					
海軍省經理局長	大政本部	同	造船費、造兵費、艦營需品及保管運搬費					
海軍省經理局長	艦政本部	同	造船費、造兵費、艦營需品及保管運搬費					
海軍省經理局長	經理學部	同	本部ノ仕拂ニ屬スル一切ノ經費					
海軍省經理局長	臨時海軍建築部	同	本部ノ仕拂ニ屬スル一切ノ經費					
海軍省經理局長	艦型試驗所	同	本部ノ仕拂ニ屬スル一切ノ經費					
海軍省經理局長	艦隊	同	艦隊幕僚(豫備艦隊幕僚)ノ經費及機動費					
海軍省經理局長	造兵廠	同	本部ノ仕拂ニ屬スル一切ノ經費					
海軍省經理局長	下瀨火藥製造所	同	本部ノ仕拂ニ屬スル一切ノ經費					
海軍省經理局長	水路部	同	軍港要港費					
海軍省經理局長	港務部	同	造船費、造兵費、受託造修費					
海軍省經理局長	工廠	同	艦營需品及保管運搬費					
海軍省經理局長	工廠	同	水路費(測量費)教育圖書(旅順鎮守)					
海軍省經理局長	測器庫	同	水路費(測量費)教育圖書					
海軍省經理局長	病院	同	患者費					
海軍省經理局長	監獄	同	在監人費					
海軍省經理局長	經理部	同	鎮守府各部官廳經費ニシテ以上列記以外ノ分一切					
海軍省經理局長	艦隊	同	艦隊幕僚(豫備艦隊幕僚)ノ仕拂ニ屬スル一切ノ經費					
海軍省經理局長	砲術學校	同	本校ノ仕拂ニ屬スル一切ノ經費					
海軍省經理局長	水雷學校	同	同					
海軍省經理局長	工機學校	同	同					
海軍省經理局長	兵學校	同	同					
海軍省經理局長	煉炭製造所	同	本所ノ仕拂ニ屬スル一切ノ經費					
海軍省經理局長	探炭所	同	同					
海軍省經理局長	臺灣總督府	同	本幕僚ノ仕拂ニ屬スル一切ノ經費					
海軍省經理局長	臺灣總督府	同	同					
海軍省經理局長	臨時海軍建築部	同	本部ノ仕拂ニ屬スル一切ノ經費					

考 備
 一、各屬ニ於テ依テ工事ヲ施行シ若ハ依テ物品ヲ調辨スル場合ニハ其ノ經費仕拂請求票ハ當該事項擔當應ニ於テ之ヲ作ルモノトス
 一、委任仕拂命令官疾病其ノ他公私ノ事故ニ依リ仕拂命令ノ職ヲ執ルコト能ハサルトキハ別ニ定ムル所ノ代理官ヲシテ其ノ職務ヲ執行セシメ代理官ヲ置カサルモノハ其ノ際別ニ委任者ヲ定ム

歳入徴収官、收入官吏並收入取扱區分表

歳入徴収官	收入官吏	收入區分
海軍省經理局長	×海軍省經理局局長	本省及東京所在各廳(海軍造兵廠、水路部、下瀬火藥製造所ヲ除ク)並艦隊幕僚(豫備艦隊幕僚ヲ除ク)收入
海軍造兵廠長	×海軍造兵廠書記	海軍造兵廠ノ收入
水路部長	×水路部會計課長	水路部ノ收入
海軍下瀬火藥製造所長	×海軍下瀬火藥製造所書記	下瀬火藥製造所ノ收入
横須賀海軍經理部長	×横須賀海軍經理部課員	横須賀軍港所在各廳及横須賀鎮守府所轄艦隊豫備艦隊幕僚並大湊要港部ノ收入
吳海軍經理部長	×吳海軍經理部課員	吳軍港所在各廳(兵學校ヲ除ク)及吳鎮守府所轄艦隊豫備艦隊幕僚ノ收入
佐世保海軍經理部長	×佐世保海軍經理部課員	佐世保軍港所在各廳及佐世保鎮守府所轄艦隊豫備艦隊幕僚並竹敷要港部馬公要港部ノ收入
舞鶴海軍經理部長	×舞鶴海軍經理部課員	舞鶴軍港所在各廳及舞鶴鎮守府所轄艦隊豫備艦隊幕僚ノ收入
海軍兵學校長	×海軍兵學校主計長	海軍兵學校ノ收入
海軍探炭所長	×海軍探炭所書記	海軍探炭所ノ收入
臺灣總督府參謀長	×臺灣總督府幕僚書記	臺灣總督府海軍省所管收入
海軍煉炭製造所長	×海軍煉炭製造所主計長	海軍煉炭製造所ノ收入
旅順海軍經理部長	×旅順海軍經理部部長	旅順鎮守府所在各廳同鎮守府所轄部隊附屬艦艇ノ收入
臨時海軍建築部主計官	×臨時海軍建築部支部分書記	臨時海軍建築部支部分ノ收入

備考 一、所屬歳入徴収官ハ×印ヲ附シタル收入官吏ヲ命免シ其ノ氏名ヲ報告スヘシ

〔第一號書式甲 用紙美濃紙〕

大正何年度歳入豫算書

何廳歳入徴收官職氏名

科		目		豫定額		備考
款	項	目				
歳入何部				円	銭	備考 左側二寸ノ線代ヲ付スルモノトス
何	何	何		0		
				0		
何	何	何		0		
				0		
				0		
合計				0		

大正何年何月何日

海軍大臣氏名 ①

1124

〔第一號書式乙 川紙美濃紙〕

大正何年度歳出何部

仕 拂 豫 算 書

委任仕拂命令官職氏名

何本金庫何支金庫

第何號

科 目					豫算額		事 由
款	項	目	節	細 節	千	圓	
何	何	何	何	何	0	0	備考 左側二寸ノ綴代ヲ付スルモノトス
					0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
				合 計	0	0	
				何月分	0	0	
				何月分	0	0	
				合 計	0	0	

大正何年何月何日

海軍大臣氏名 (印)

1125

〔第二號書式 用紙美濃紙〕

大正何年度歳出何部
仕拂豫算更定計算書

委任仕拂命令官職氏名

何本金庫何支金庫

第何號

科 目					豫算額		事 由
款	項	目	節	細 節	同 類 額	異 類 額	
何	何	何	何	何	0	0	{何々ノ事由ニ依リ増額ス
					0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
				何	0	0	{何々ノ事由ニ依リ減額ス
					0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
				合 計	0	0	
		金庫月別		何月分	0	0	備考 一、「一」印ハ減額未書スルモノトス 一、左欄ニ一寸ノ綴代ヲ付スルモノトス
				何月分	0	0	
				合 計	0	0	

大正何年何月何日
海軍大臣氏名 印

1126

「第三號書式 川紙美濃紙」

大正何年度歳出何部
仕拂豫算増額(若ハ減額)計算書

第何號

科 目	金 額			事 由
	円	角	分	
何々(款)	0			{何々ノ事故ニ依リ増加ヲ要ス 何々 {何々ノ事故ニ依リ減額ヲ要ス 減額ハ仕拂停止濟 備考 一、一「印」ハ減額朱書スルモノトス 一、左側ニ一寸ノ綴代ヲ付スルモノトス
何々(項)	0			
何々(目)	0			
何々(節)	0			
何々(目)	0			
何々(節)	0			
何々(細節)	0			
何々(目)	0			
計	0			
金庫豫算月別				
何月分	0			
何月分	0			
計	0			

大正何年何月何日
委任仕拂命令官職氏名(印)

經理局長宛

1127

〔第四號書式 用紙美濃紙〕

大正何年度歳出何部
仕拂豫算各目(若ハ各節)増減更定請求書

第何號

科 目	金 額			事 由
	円	銭	厘	
何々(款)	0			
何々(項)	0			
何々(目)	0			
何々(節)	0			何々ニ依リ増加ヲ要ス
何々(目)	0			
何々(節)	0			
何々(細節)	0			何々
何々(目)	0			何々ニ依リ減額ヲ要ス
計	0			

備考
一、「」印ハ減額朱書スルモノトス
一、左側ニ一寸ノ綫代ヲ付スルモノトス

大正何年何月何日

委任仕拂命令官職氏名

經理局長宛

1128

〔第五號様式 用紙美濃紙〕

大正何年度歳出何部
 仕拂豫算各目(若ハ各節)増減更定報告書

第何號

科 目	金 額			事 由
	円	銭	厘	
何々(款)	0			
何々(項)	0			
何々(目)	0			
何々(節)	0			何々ニ依リ増加ヲ要ス
何々(目)	0			
何々(節)	0			
何々(細節)	0			何々
何々(目)	0			何々ニ依リ減額ヲ要ス
計	0			

備考
 一、一「印ハ減額朱書スルモノトス
 一、左側ニ一寸ノ線代ヲ付スルモノ
 トス

大正何年何月何日
 委任仕拂命令官職氏名印

經理局長宛

1129

〔第九號書式 用紙美濃紙〕

大正何年度歳入(歳出)
 缺損補填金仕拂要求書

債主收入官吏若ハ現金前渡官吏職氏名

第何號

科 目	金 額			事 由
	円	銭	厘	
何々(款)	0			(何々金保管中何々(事由)ニ 依リ竊取又ハ何々セラレタ ルニ付該金額缺損補填ノ分 (事由ハ成ル可ク詳悉スベシ))
何々(項)	0			
何々(目)	0			
何々(節)	0			
何々(細節)	0			
合 計	0			備考 一、證憑書トナルヘキ臨時検査員檢定書寫辦償ヲ 命セラレタル額末書又命セラレサルトキハ其 理山書裁判言渡書等添付スヘシ 一、左側ニ一寸ノ綴代ヲ付スルモノトス

大正何年何月何日

歳入徴收官若ハ委任仕拂命令官職氏名印

經理局長宛

1130

〔第十號書式 用紙美濃紙〕

大正何年度
歳入現況報告書

科 目	豫算額	三月迄調 定 済 額	三月迄 収入額	不 納 欠 損 額	收 入 未 済 額
	円 銭 分	円 銭 分	円 銭 分	円 銭 分	円 銭 分
何々(款)	0	0	0	0	0
何々(項)	0	0	0	0	0
何々(目)	0	0	0	0	0
歳入經常部合計	0	0	0	0	0
何々(款)	0	0	0	0	0
何々(項)	0	0	0	0	0
何々(目)	0	0	0	0	0
歳入臨時部合計	0	0	0	0	0
歳 入 合 計	0	0	0	0	0

備考
一、左側二寸ノ綴代ヲ付スルモノトス

大正何年何月何日
歳入徴收官職氏名(印)

經理局長宛

1131

科 目	豫 算 額				支 出 額	翌年度へ繰越豫算額		豫算不用額		備 考
	令 示 額	増 額	減 額	現 豫 算 額						
	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	
軍 事 費	0	0	0	0	0	0	0	0		
俸 給	0	0	0	0	0	0	0	0		
上長官士官俸給	0	0	0	0	0	0	0	0		
將 校	0	0	0	0	0	0	0	0		
准士官俸給	0	0	0	0	0	0	0	0		
上 等 兵 曹	0	0	0	0	0	0	0	0		
下 士 俸 給	0	0	0	0	0	0	0	0		
兵 曹	0	0	0	0	0	0	0	0		
判 任 俸 給	0	0	0	0	0	0	0	0		
書 記	0	0	0	0	0	0	0	0		
經 營 費	0	1	0	0	0	0	0	0		
經 營 需 品	0	0	0	0	0	0	0	0		
定 備 品	0	0	0	0	0	0	0	0		
消 耗 品	0	0	0	0	0	0	0	0		
何 々	0	0	0	0	0	0	0	0		
經常部合計	0	0	0	0	0	0	0	0		

大正何年何月何日
委仕仕務命令官職名氏 (印)

經 理 局 長 宛

1132

大正何年度歳出經常(臨時)部

支出報告書

備考

- 一、經常部及臨時部ハ各別冊ニ調製スルモノトス
- 二、豫算増額減額ノ欄ニハ規程第五條ニ依リ豫算更定増減ヲ爲シタル金額ノミヲ掲上スルモノトス
- 三、科目中細節アルモノハ其細節ヲモ掲上スルモノトス
- 四、左側ニ一寸ノ級代ヲ付スルモノトス

處

何

1132-2

〔第十五號書式 用紙美濃紙〕

大正何年度
豫算現況報告書

科 目	現豫 算額	支 出 額				毎年度見 達額	豫 算 過 不 足 額	備 考
		十二 月 支 出 額	一 月 以 上 支 出 額	一 月 以 上 支 出 額	一 月 以 上 支 出 額			
	円	円	円	円	円	円	円	
何々(款)	0	0	0	0	0	0	0	
何々(項)	0	0	0	0	0	0	0	
何々(目)	0	0	0	0	0	0	0	
何々(節)	0	0	0	0	0	0	0	
歳出經常部合計	0	0	0	0	0	0	0	備考 一、不足額ハ未替スルモノトス 左側ニ一ノ級代チ付スルモノトス
何々(款)	0	0	0	0	0	0	0	
何々(項)	0	0	0	0	0	0	0	
何々(目)	0	0	0	0	0	0	0	
何々(節)	0	0	0	0	0	0	0	
何々(細節)	0	0	0	0	0	0	0	
歳出臨時部合計	0	0	0	0	0	0	0	
歳 出 合 計	0	0	0	0	0	0	0	

大正何年何月何日

委任任務命令官職氏名(印)

經 理 局 長 宛

1133

科 目	採 算 額					仕 拂 額	採 算 残 額	備 考					
	配付採算額		更正増額		更正減額				返納金		現採算額		
	円	銭	円	銭	円				銭	円	銭	円	銭
軍 費	0		0		0		0		0				
給	0		0		0		0		0				
上長官士官等給	0		0		0		0		0				
將 校	0		0		0		0		0				
准士官等給	0		0		0		0		0				
上等兵等	0		0		0		0		0				
下士官等給	0		0		0		0		0				
兵 等	0		0		0		0		0				
給 費	0		0		0		0		0				
給 費 諸 品	0		0		0		0		0				
定 備 品	0		0		0		0		0				
消 耗 品	0		0		0		0		0				
何 々	0		0		0		0		0				
總 計 合 計	0		0		0		0		0				

大正何年何月何日
職 氏 名 〇

〔第十七號書式 用紙美濃紙〕

大 正 何 年 度

仕 拂 報 告 書

軍 艦 (何 々)

備 考

左側ニ一寸ノ綫代ヲ付スルモノトス

1134-2

大正何年度
經費支出現況報告書

科 目	現豫 算額	支 出 額					整年度 繰越見 込額		不 用 見込額	備 考
		三月迄 支出額	四月以 出見込	五月以 出見込	六月以 出見込	七月以 出見込	差引計	繰越見 込額		
何々(款)	0	0	0	0	0	0	0	0	備考 一、四月以降支出見込額ノ欄ヘハ四月二日ヨリ五月三十一日迄支出スヘキ見込額ヲ掲載スルモノトス 二、不用見込額ハ各項ニ於テ其不用トナリシ事由ノ大要ヲ備考欄内ニ掲載スルモノトス 三、左側ニ一寸ノ線代ヲ付スルモノトス	
何々(項)	0	0	0	0	0	0	0	0		
何々(目)	0	0	0	0	0	0	0	0		
何々(節)	0	0	0	0	0	0	0	0		
何々(細節)	0	0	0	0	0	0	0	0		
歳出經常部合計	0	0	0	0	0	0	0	0		
何々(款)	0	0	0	0	0	0	0	0		
何々(項)	0	0	0	0	0	0	0	0		
何々(目)	0	0	0	0	0	0	0	0		
何々(節)	0	0	0	0	0	0	0	0		
何々(細節)	0	0	0	0	0	0	0	0		
歳出臨時部合計	0	0	0	0	0	0	0	0		
歳 出 合 計	0	0	0	0	0	0	0	0		

大正何年何月何日
委任仕拂命令官職氏名(印)

經理局長宛

〔第二十號密式 用紙美濃紙〕

大正何年度歳出何部
年度開始前支出計算書

科 目					金 額		事 由
款	項	目	節	細 節	円	角	
何	何	何	何	何	0	0	何々ノ事由ニ依リ支出ヲ要ス 何
				何	0	0	
				何	0	0	
				何	0	0	
				何	0	0	
				合 計	0	0	
		金庫	月別	何月分	0	0	
				何月分	0	0	
				合 計	0	0	

備考
左側ニ一寸ノ繰代ヲ付スルモノトス

大正何年何月何日
委任仕務命令官 職氏名(印)
經理局長宛

1136

科 目	事 項	算 現 額			仕 拂 命 令 済 額			會 計 年 度 内 支 出 未 済 額			算 不 用 額			繰 越 既 済 額			翌 年 度 へ 繰 越 額			事 由
		円	銭	厘	円	銭	厘	円	銭	厘	円	銭	厘	円	銭	厘	円	銭	厘	
何	何	0			0			0			0			0			0			注 意 一、繰越手戻金ノ事由ヲ詳密ニ記載スヘシ其記事沿革ニ添ルモノハ別紙ニ掲記ヲ要ス 一、事由ノ事項毎ニ掲記シ其事項委員ニ係ルモノト直轄ニ係ルモノトノ区分ヲ示シ受買ニ係ルモノハ受買人ノ職業住所氏名ヲ示シ會計規則第五十八條ニ依ルモノハ契約書ノ寫ヲ添付スヘシ
何	何	0			0			0			0			0			0			
何	何	0			0			0			0			0			0			
何	何	0			0			0			0			0			0			
何	何	0			0			0			0			0			0			
何	何	0			0			0			0			0			0			
何	何	0			0			0			0			0			0			
何	何	0			0			0			0			0			0			
何	何	0			0			0			0			0			0			
合 計		0			0			0			0			0			0			

大正何年何月何日
 委任仕拂命令官 職氏名 印

經理局長宛

1137

〔第二十二號書式 用紙美濃紙〕

大正何年度歳出何部

何々(款)繰越計算書

備考

一、此計算書ハ款毎ニ別冊トシテ調製スヘシ
一、左側ニ一寸ノ繰代ヲ付スルモノトス

何 廳

1138

〔第二十三號付式 用紙美濃紙〕

大正何年度歳出何部
過年度支出請求書 第何號

科 目	金 額			事 由
	円	銭	厘	
(何年度)				
何々(款)	0			
何々(項)	0			
何々(目)	0			
何々(箇)	0			何々何々誰波何々
(何年度)				
何々(款)	0			
何々(項)	0			
何々(目)	0			
何々(箇)	0			何
合 計	0			

備考
左側二寸ノ綴代ヲ付スルモノトス

大正何年何月何日
委任仕拂命令官 職氏名(印)

經理局長宛

1139

科 目	類 別	調 定 済 額			收 入 済 額		收 入 未 済 額		豫 算 額 ニ 比 較 シテ 収 入 済 額 ノ 増 減			事 由		
		本 年 度			前 年 度 繰 越		不 納 欠 損		翌 年 度 繰 越		円		銭	厘
		円	銭	厘	円	銭	厘	円	銭	厘				
歳入經常部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	注 意 一、各目ニ於テ豫算額ニ比シテ收入済額ノ増減キム事由ヲ詳記スヘシ 二、減ハ赤字スルモノトス	
何々(款)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
何々(項)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
何々(目)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
何々	何	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
何々(款)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
何々(項)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
何々(目)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
何々	何	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
歳入經常部合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
歳入臨時部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
何々(款)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
何々(項)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
何々(目)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
何々	何	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
歳入臨時部合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
歳入總計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

大正何年何月何日
歳入徴收官 職氏名◎

經理局長宛

1140

第三十四號表式 用紙美濃紙

大 正 何 年 度
歳 入 増 減 計 算 書

何 廳

備 考

- 一、前年度繰越、本納欠損、翌年度繰越アルトキハ每件金額及事由ヲ詳記ス
ヘシ
- 二、類別ノ區分ハ經理局ノ通知ニ依ルヘシ
- 三、左側ニ一寸ノ綴代ヲ付スルモノトス

1141

達第五號

明治二十七年達第三百二十三號監國部隊金銀出納規程中左ノ通改正ス

大正元年八月七日

海軍大臣 男 爵 齋 藤 實

第七條第二項ヲ左ノ如ク改ム

一 目中各節ノ増減ヲ爲シタルトキハ第四號密式ニ準シ増減報告書ヲ作り毎月當該委任仕拂命令官ニ送付スヘシ

達第六號

明治三十六年達第三百三十四號ハ之ヲ廢止ス

大正元年八月七日

海軍大臣 男 爵 齋 藤 實

參 照



五 海 軍

明治三十六年達第三百三十四號ハ海軍省所管收入及経費ニ係ル支出收入總區分及委任仕拂命令官、歳入徴收官、收入官吏ニ關スルノ件ナリ

達第七號

計算帳簿規程中左ノ通改正ス

大正元年八月七日

海軍大臣 男 爵 齋 藤 實

第二條 經理局ハ左ノ帳簿ヲ設備シ海軍省所管全部ノ歳出入ノ計算ヲ整理スヘシ

- 一 歳出簿
 - 二 歳出豫備額整理簿
 - 三 仕拂命令官豫算整理簿
 - 四 過年度支出金整理簿
- 第四條中「歳出各應内譯簿」ヲ削ル

第五條 削除

第十一條 前各條ニ掲ケタルモノ、外補助簿ヲ設クルノ必要アルトキハ經理局長ノ承認ヲ受クヘシ

六
海
軍

達第八號

軍人軍屬宿直、一晝夜交替又ハ徹夜勤務ヲ命セラレタルトキハ別表ニ依リ食料ヲ給ス但シ時宜ニ依リ別表ノ金額以內ニ於テ現品ヲ給與スルコトヲ得
前項ノ規定ハ海軍給與令ニ依リ食料又ハ糧食ヲ給セラル、者若ハ明治四十年勅令第八號ニ依リ勤勉手當ヲ給スル者ニハ之ヲ適用セス

附 則

明治四十年達第十八號及明治四十四年達第八十一號ハ之ヲ廢止ス

情

大正元年八月七日

海軍大臣男 爵齋 藤

實

(別表)

區 分	高等官、試補	兵曹長、同相當官 及准士官、判任文官	判任官待遇者 雇員、傭人
東京各應(下瀨火藥製造所ヲ除ケ)	四十錢	二十錢	十二錢
下瀨火藥製造所及東京以外ノ各應	三十錢	十五錢	

七
海 軍

備 考

一、本表ノ食料ハ一直若ハ一夜ニ對スル金額トス

達第九號

海軍共濟組合理則施行細則中左ノ通改正ス

大正元年八月七日

海軍大臣 男爵齋 藤

實

第四條中「給料仕拂ノ際」ノ下ニ
(月給ノ雇員ニ對スル分ハ毎月末日、十二月二十八日、當日休暇)ヲ加フ
(日ニ當ルキトハ前日、翌日、翌々日、翌々々日、翌々々々日、翌々々々々日、翌々々々々々日、翌々々々々々々日、翌々々々々々々々日)ヲ加フ

達第十號

儀制ニ關スル海軍軍樂樂譜別冊ノ通定ム

但シ別冊ハ海軍教育本部ヲシテ必要ノ向ヘ配賦セシム

大正元年八月九日

海軍大臣 男 齋 藤 實

八
海
軍

1145

✓

正 誤

本年達第七號計算帳簿規程第二條中「歳入」ノ二字ハ
大正元年八月二十七日

海軍省副官

1146

達第十一號

艦艇類別標準別表ノ逕改正セラル

大正元年八月二十八日



明治三十八年(西曆一九〇五年)

海軍大臣 男爵齋藤 實

(別表)

艦艇類別標準

類別 等級 計 並 排 水 量

戰艦

巡洋戰艦

巡洋艦

二等 七千噸未滿

一等 七千噸以上

九 海 軍

艦 海防艦 一等 七千噸以上 二等 七千噸未滿

砲艦 一等 八百噸以上 二等 八百噸未滿

驅逐艦 一等 千噸以上 二等 千噸未滿六百噸以上 三等 六百噸未滿

水雷艇 一等 百二十噸以上 二等 百二十噸未滿

潜水艇

備考 海軍大臣ハ本表ニ依リ艦艇ノ類別並等級ヲ定メ若ハ變更ス

達第十二號

艦艇類別等級別表ノ通改正ス



明治三十八年達第百八十三號

大正元年八月二十八日

海軍大臣 男 齋藤 實

(別表)

艦艇類別等級表

類別

等級

艦艇名

戰艦

敷島、朝日、三笠、肥前、香取、鹿島、薩摩、安藝、河内、攝津

巡洋戰艦

筑波、生駒、鞍馬、伊吹

巡洋艦

磯間、常磐、八雲、吾妻、磐手、出雲、春日、日進、阿蘇

笠置、千歲、津輕、宗谷、利根、筑摩、平戶、矢矧、須磨、明石、新島、

對馬、音羽

壹岐、丹後、富士、石見、相摸、周防

十

海軍

艦

海防艦

沖島、見島、高千穂、蹯島、橋立、千代田、秋津洲、鈴谷、滿州、豊橋、

韓崎、葛城、大和、武藏、松江

龍田、千早、淀、最上

宇治、隅田、伏見、鳥羽

海風、山風

櫻、橘

東雲、叢雲、夕霧、不知火、陽炎、海雲、雷、曙、漣、龍、白雲、朝潮、霞、

村雨、朝霧、有明、吹雪、霞、皋月、潮、初霧、神風、彌生、子日、文月、

如月、山彥、敷波、卷雲、朝風、夕暮、若葉、春風、追風、白露、初雪、

時雨、夕立、霧、朝露、白雪、初春、疾風、三月月、野分、白妙、夕風、卯

月、水無月、長月、松風、菊月、浦波、磯波、綾波

草、白鷹、鶴、真鶴、千鳥、雁、若鷹、鶴、燕、雲雀、雉、鷺、鶉、鷓、鴒、鴻

考	備	潜水艇	水雷艇
			二等
四	一 軍艦ヲ稱呼スルニハ其ノ類別ノ何タルヲ問ハス「軍艦何」ヲ以テス 二 驅逐艦ヲ稱呼スルニハ「驅逐艦何」ヲ以テス 三 水雷艇ヲ稱呼スルコト左ノ如シ 四 潜水艇ハ「第何潜水艇」ト稱ス	第一、第二、第三、第四、第五、第六、第七、第八、第九、第十、第十一、第十二 第二十五號、第二十九號、第三十號、第三十一號、第三十二號、第三十三號、第三十六號、第三十七號、第三十八號、第三十九號、第四十號、第四十一號、第四十三號、第四十四號、第四十五號、第四十六號、第四十七號、第四十九號、第五十四號、第五十五號、第五十六號、第五十七號、第五十八號、第五十九號、第六十號、第六十一號、第六十二號、第六十三號、第六十四號、第六十五號、第六十六號、第六十七號、第六十八號、第七十號、第七十一號、第七十二號、第七十三號、第七十四號、第七十五號	一等水雷艇ハ「水雷艇何」ト稱シ二等水雷艇ハ「第何號水雷艇」ト稱ス 潜水艇ハ「第何潜水艇」ト稱ス
			海軍

達第十三號

今般艦艇類別標準改正セラレタル結果海軍諸法令中「一等巡洋艦」トアルハ「巡洋戰艦」、一
等巡洋艦「ニ、^四三等巡洋艦」トアルハ「二等巡洋艦」ニ、「三等海防艦」トアルハ「二等海防
艦」ニ、「通報艦」トアルハ「一等砲艦」ニ、「三等水雷艇」トアルハ「二等水雷艇」ニ改メラレ
タル儀ト心得ヘシ

大正元年八月二十八日

海軍大臣 男爵齋藤 實

達第十四號

雇員傭人規則中左ノ通改正ス

大正元年八月二十八日

海軍大臣 男爵齋藤 實

第三條中倉庫丁ノ欄「各學校」ノ次ニ「臨時海軍建築部支部」ヲ、電話丁ノ欄「海軍工廠」ノ
次ニ「臨時海軍建築部支部」ヲ、大工ノ欄「海軍艦型試驗所」ノ次ニ「臨時海軍建築部支部」
ヲ追加ス

達第十五號

海軍兵學校規則中左ノ通改正ス

大正元年八月二十九日

海軍大臣 男爵齋藤 實

第四條 修業期間ハ之ヲ三學年ニ分チ第一學年ハ九月十一日ヨリ翌年十二月末日ニ至リ

第二、第三學年ハ一月一日ニ始マリ十二月末日ニ終ル

第十七條 校長ハ毎年學年ノ終リニ於テ教育報告ヲ作り之ニ意見ヲ附シ二月末日迄ニ海

軍教育本部長ニ提出スヘシ

附 則

本則ハ大正元年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

本則施行ノ際現ニ海軍兵學校ニ在學スル生徒ノ大正元年ヨリ同二年ニ亘ル學年ハ九月十一日ニ始リ翌年十二月ニ終ル

十三 海 軍

達第十六號

海軍機關學校規則中左ノ通改正ス

大正元年八月二十九日

海軍大臣 男爵齋藤 實

第四條 修業期間ハ之ヲ三學年ニ分チ第一學年ハ九月十一日ヨリ翌年十二月末日ニ至リ

第二、第三學年ハ一月一日ニ始マリ十二月末日ニ終ル

第十七條 校長ハ毎年學年ノ終リニ於テ教育報告ヲ作り之ニ意見ヲ附シ二月末日迄ニ海軍教育本部長ニ提出スヘシ

附 則

本則ハ大正元年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

本則施行ノ際現ニ海軍機關學校ニ在學スル生徒ノ大正元年ヨリ同二年ニ亘ル學年ハ九月十一日ニ始マリ翌年十二月ニ終ル